

猪名川町から

がんばれ！西内・田山選手



「トライアスロン」ってどんな競技？

2000年シドニー五輪で初めて正式競技に採用され、アテネ五輪では2度目の戦いとなるトライアスロン。この競技はスイム（水泳）・バイク（自転車）・ラン（ランニング）の3種目を1人の選手が連続して行い、トータルタイムが競われます。なかには「鉄人レース」と呼ばれる、8時間以上かかる長い距離のレースもありますが、オリンピックでは、スイム1.5km、バイク40km、ラン10kmとなります。

また、「トランジット」というスイムからバイク、バイクからランと種目が変わる時の着替えや準備の時間もタイムに入り、第4の種目といわれています。

世界中が注目するアテネ五輪の開幕まで、あと40日余りとなりました。選ばれた者だけに与えられるオリンピックの参加資格。その大きな夢をつかんだ選手の中に、猪名川町にあるトライアスロン実業団「チームテイケイ」の西内洋行選手、田山寛豪選手の2人がいます。

今回は、メダルを目指して練習に励む両選手と、八尾彰一監督の一日を取材し、アテネに向けての意気込みをうかがいました。

アテネに



▲ 厳しい練習に汗を流す「チームテイケイ」のメンバー達

挑戦！

特派員報告

いながわ



松永 ひさみ



久保田 由美

世界の舞台に立つ「チームテイケイ」

アテネ五輪 まもなく開幕

4年ごとに開かれるオリンピックは今回が第28回目となり、108年ぶりにオリンピックの生誕地ギリシャのアテネで開催されます。8月13日の開幕から同29日までの17日間、世界各地から代表に選ばれた選手達が集まり、熱い戦いを繰り広げることでしょう。今大会では水泳や陸上競技など28競技が行われ、トライアスロン男子のレースは、8月26日（木）に開催される予定です。

豊かな自然を力に変える「チームテイケイ」

シドニー五輪に続く2度目のオリンピック出場となる西内洋行選手と、今回初出場の田山寛豪選手の2人が所属するのは、猪名川町白金に事務所を置く「チームテイケイ」です。14年前に日本初のトライアスロン実業団チームとし

て東京で誕生しましたが、その後、トライアスロンに、より適した環境を求めて、猪名川町に拠点を移し、今年で12年が経ちました。豊かな自然に恵まれた猪名川町は、自転車やランニングができる起伏のある山道や、近くに水泳のできるプールもあり、トライアスロンの3種目の練習ができる理想的な環境ということになります。両選手も、ここで十分な練習を積み重ねてきました。選手の育成と指導をされる八尾彰一監督も、シドニー五輪に続く2度目の全日本のトライアスロンヘッドコーチに選ばれ、選手達を全面的にサポートしていきます。

メダル目指してがんばります

たやまひろかつ 田山寛豪選手

川西市一庫在住
茨城県出身
22歳
2004年世界選手権（ポルトガル）第9位

オリンピックに出ることは、私の小さい時からの夢でした。実現できてとてもうれしいです。最高の笑顔でアテネのスタートラインに立てるよう練習しています。最後のランニングで勝負に出ます。後悔しないレースをしてきたいと思います。



にしうちひろゆき 西内洋行選手

猪名川町清水在住
福岡県出身
28歳
2000年シドニー五輪出場・日本ランキング1位

トライアスロンは自分の意外な一面を発見できるのが魅力です。自家菜園で畑仕事をするなど、1日1回自分と向き合う時間を作っています。玄米や自家製の無農薬野菜を摂っていると、五感が研ぎ澄まされる感じがします。今回はメダルを目指してがんばります。



やお しょういち 八尾 彰一 監督

トライアスロンは3種類の競技がひとつになった耐久競技です。競技しながら、自分の体の変化を知って、どうしたら効率のいい動きができるか考えなくてはなりません。練習では自分の心と対話し、心をどうコントロールしたらいいのを探ります。試合の時は平常心が大切。相手を意識せずに己に勝つことです。

猪名川町のすばらしい環境の中で練習できて、幸せです。皆さんからあたたかい声援をいただき、うれしく思っています。がんばってきます。

6月2日、チームテイケイの練習を、密着取材してきました。

6時～7時30分
ウェイトトレーニング
7時30分～9時
水泳（川西市清和台）
総距離4500～5000m
9時～10時
ウェイトトレーニング
13時30分～
自転車（宝塚・三田市方面）途中800m

の峠のある、1周7kmの山道を巡回。総距離40km。ランニングで次の地点に集合。
16時～
ランニング（槻並地区）直線コース1kmを3往復。
18時頃終了

選手の一日に密着

家族みんなで応援しています

青木家の皆さんは、アテネ五輪での両選手の活躍を楽しみにしています。大学2年の大輔君は八尾監督がコーチするトライアスロンクラブ



青木さんご一家（白金地区）

に小学4年から通い、昨年はアジア大会に出場しました。両選手の五輪出場決定に大輔君は「とてもうれしいです。両選手とも日ごろの生活から、トライアスロンに対する姿勢が徹底していて、すばらしい選手です」と、胸躍らせていました。父親の清剛さんは「町内に、オリンピックに2人も出場するチームがあるということはすばらしいことです。アテネでの両選手の健闘を、家族みんなで祈っています」とエールを送りました。



編集後記

日々激しい練習に挑むチームテイケイはさわやかなスポーツマン集団でした。メンバー達はボランティアで子ども達のスポーツ指導をしたり、町のマラソン大会に出場したりして地域活動にも積極的に参加されています。西内、田山両選手はいよいよオリンピックに向けて練習も大詰めでしょうか。体調に気を付けてがんばってほしいと思います。8月26日がとても楽しみになってきました。私達の町から出たオリンピック選手をぜひ、みんなで応援しましょう！

【いながわ特派員】